

精度管理調査報告

細胞部門

精度管理事業部 病理検査部門員
公立陶生病院 病理診断科
柚木 浩良

実務担当者

北島 聖晃（JA愛知厚生連 海南病院）

都築 菜美（豊川市民病院）

吉本 尚子（公立西知多総合病院）

利益相反の有無 : 無

**※この演題に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業
などはありません。**

はじめに

- ・細胞検査部門では、近年、細胞検査における細胞の見方を目的とした精度管理調査を実施してきた。本年度も、日常業務において鑑別が重要となる症例を中心にフォトサーベイ形式にて出題した。

対象項目

- ・ フォトサーベイ（10問）

参加施設

- ・ 53施設

評価基準

- ・ 設問1～10について評価し、正解をA、不正解をDと設定した。

調査結果

	正解	正解率
設問1	(b) トリコモナス膣炎	100%
設問2	(e) 類内膜腺癌	100%
設問3	(a) 杯細胞と線毛円柱上皮細胞	100%
設問4	(b) ニューモシスチス・イロベチー	100%
設問5	(b) 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN)	100%
設問6	(a) 多形腺腫	100%
設問7	(a) 良性尿路上皮細胞	100%
設問8	(d) 乳頭癌	100%
設問9	(d) 粘液癌	100%
設問10	(c) 腺癌	100%

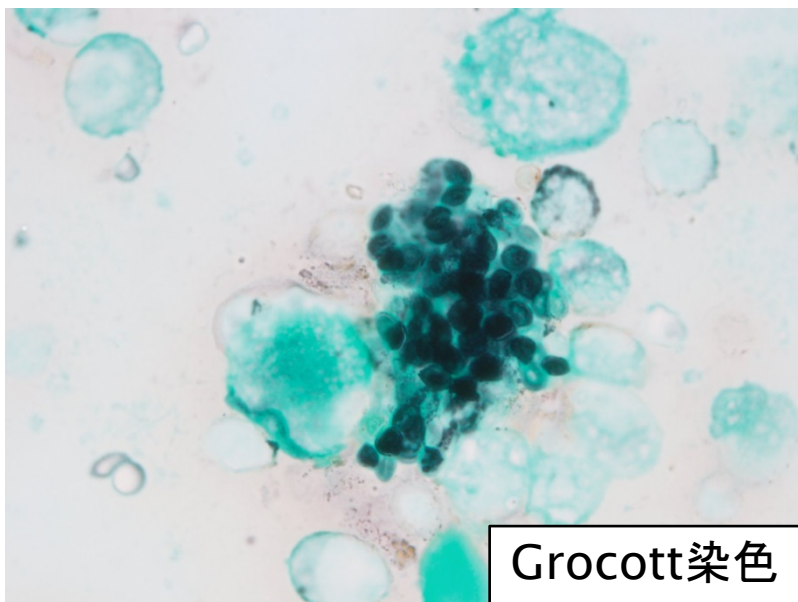
【設問4】

年齢:60歳代

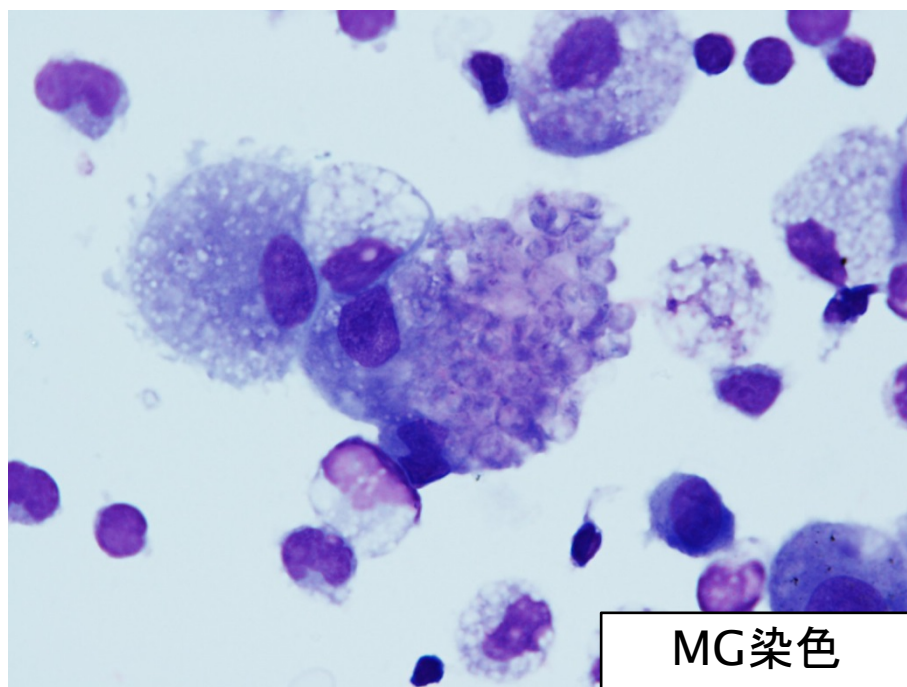
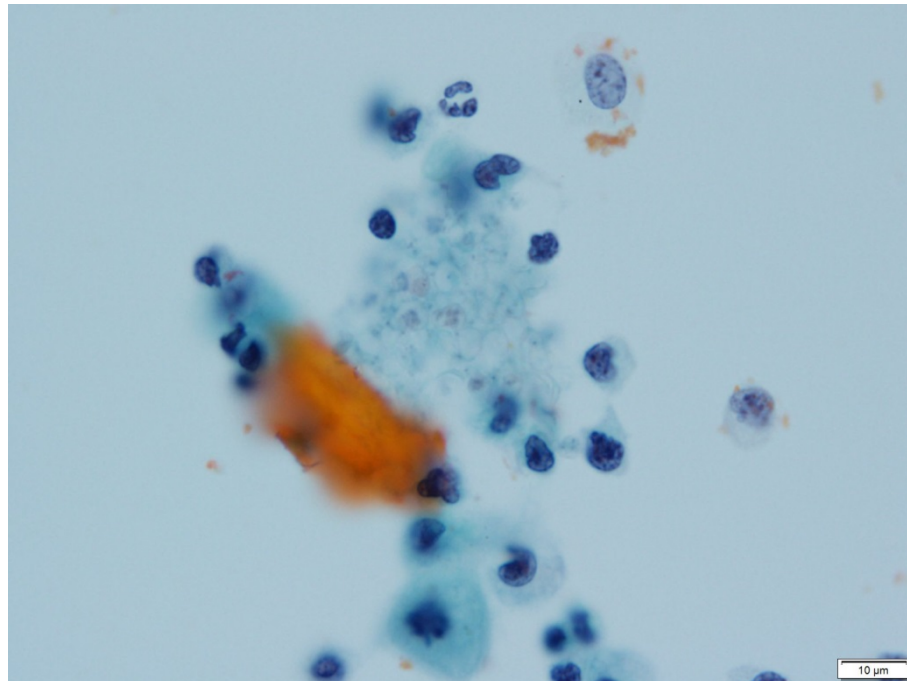
性別:男性

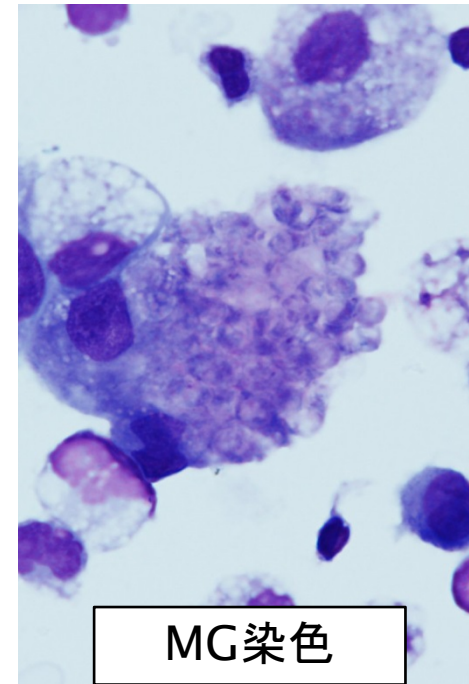
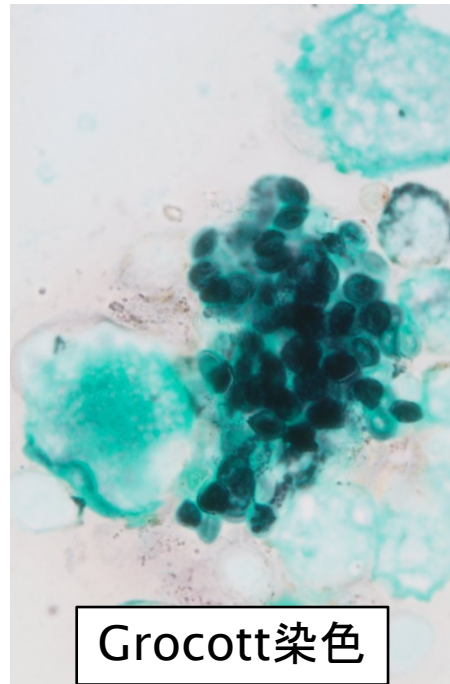
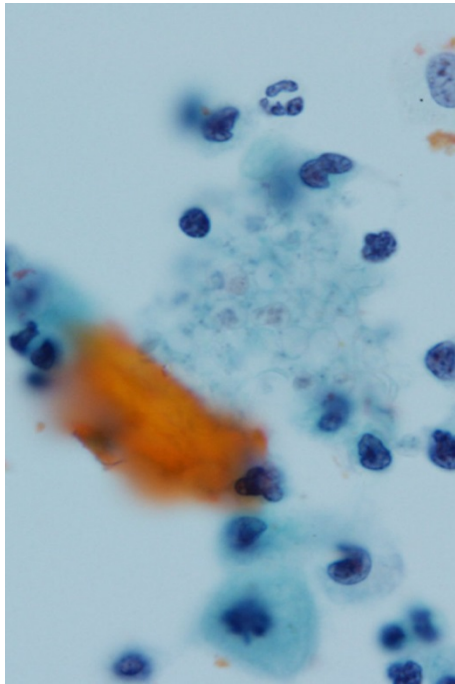
検体:肺胞洗浄液

臨床所見:間質性肺炎治療中



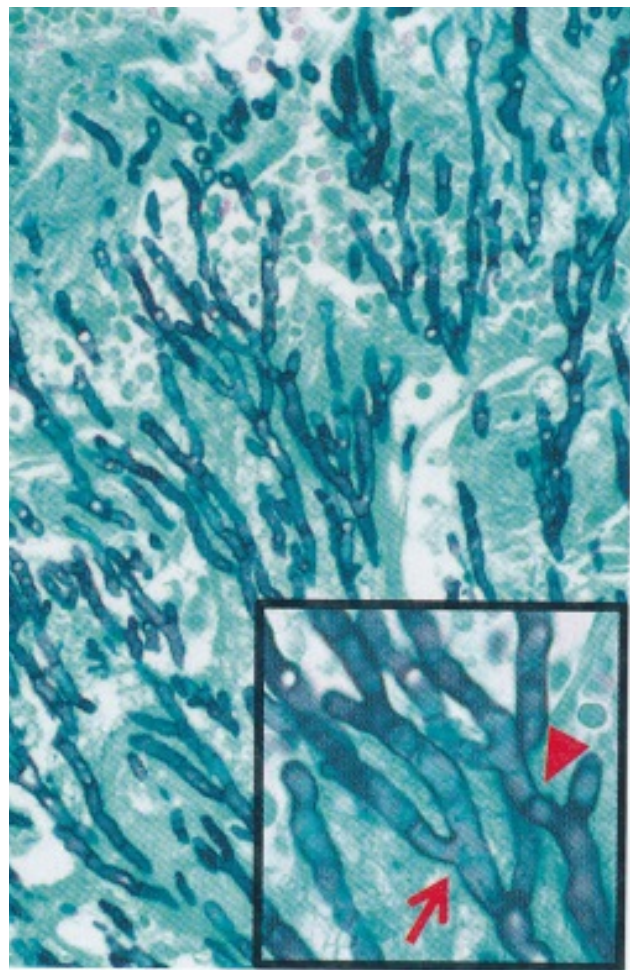
- a. クリプトコッカス b. ニューモシスチス・イロベチー c. 結核 d. サルコイドーシス
e. 腺癌





- ・ 組織球とともに円形構造の泡沫物質が出現（P.P染色）
- ・ 黒褐色の括弧状構造物（Grocott染色）
- ・ 一部にヘソ状に濃染する部分を有する（Grocott染色）
- ・ イロベチーの栄養体の集塊中にシストが透明に透けて見える（MG染色）
- ・ 免疫不全に陥ると病原性を発揮する日和見感染症の一種

〔正解〕 b. ニューモシスチス・イロベチー



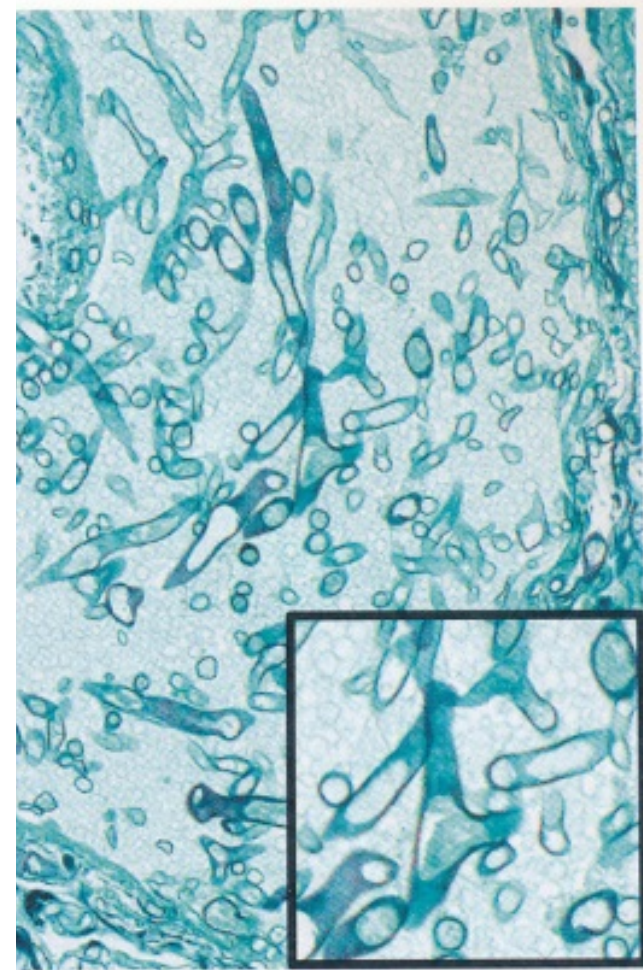
アスペルギルス

真性菌系には隔壁(◀)と鋭角な分岐(↙)がみられる。分岐部には隔壁を認めない。



カンジダ

ウイナーソーセージ様の仮性菌系には隔壁がなく、くびれ(↙)がみられる。



ムコール

菌系の幅は太く一定でない。隔壁を欠き、内部が中空状に見え、分岐角度は不規則。グロコット染色でも染色されにくい。

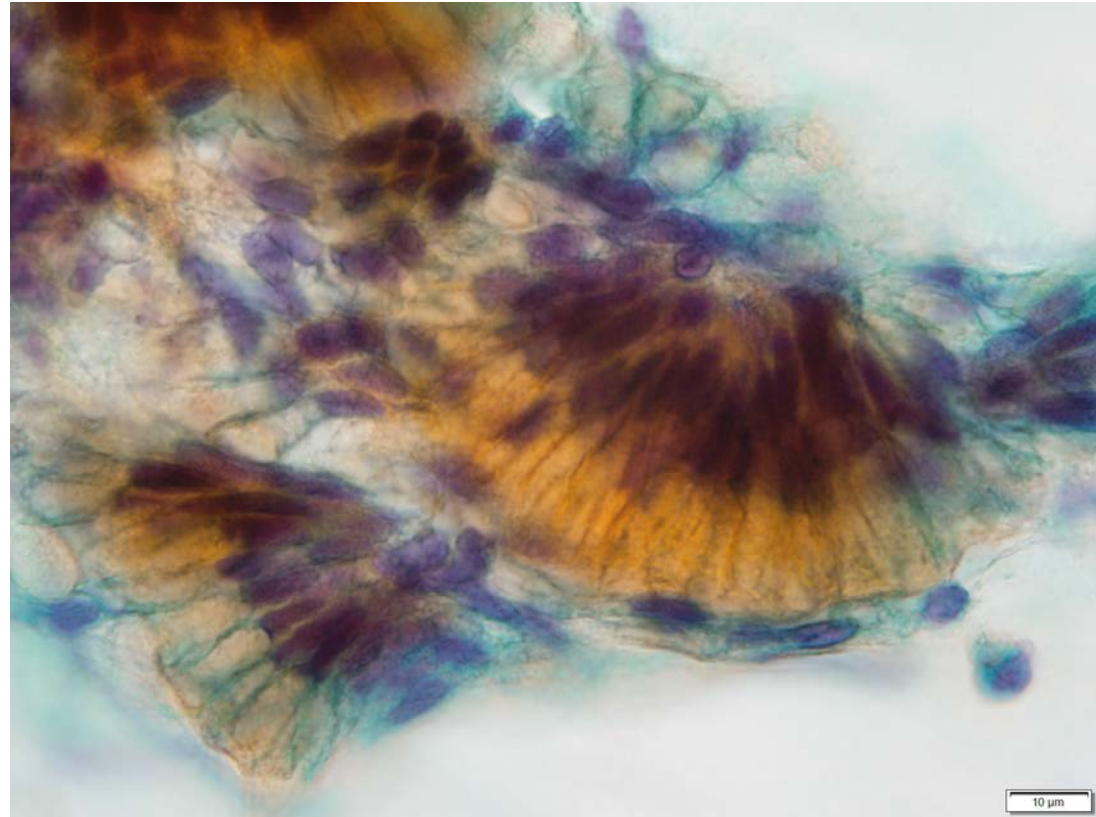
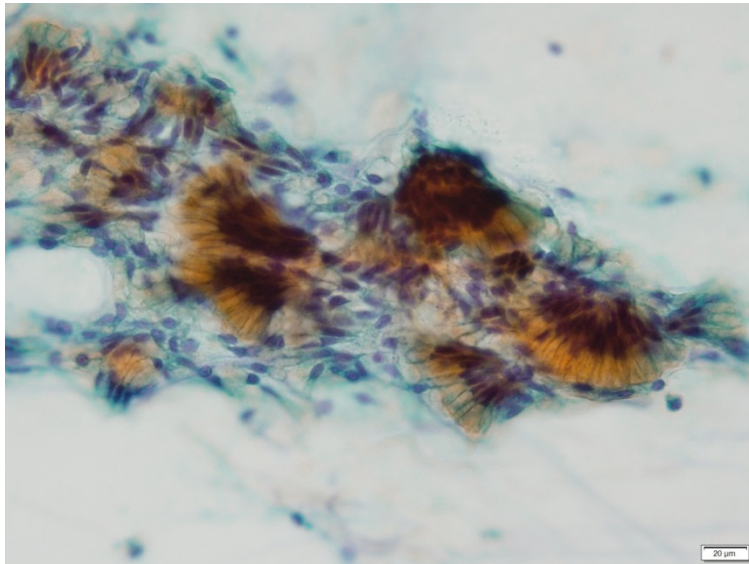
【設問5】

年齢: 80歳代

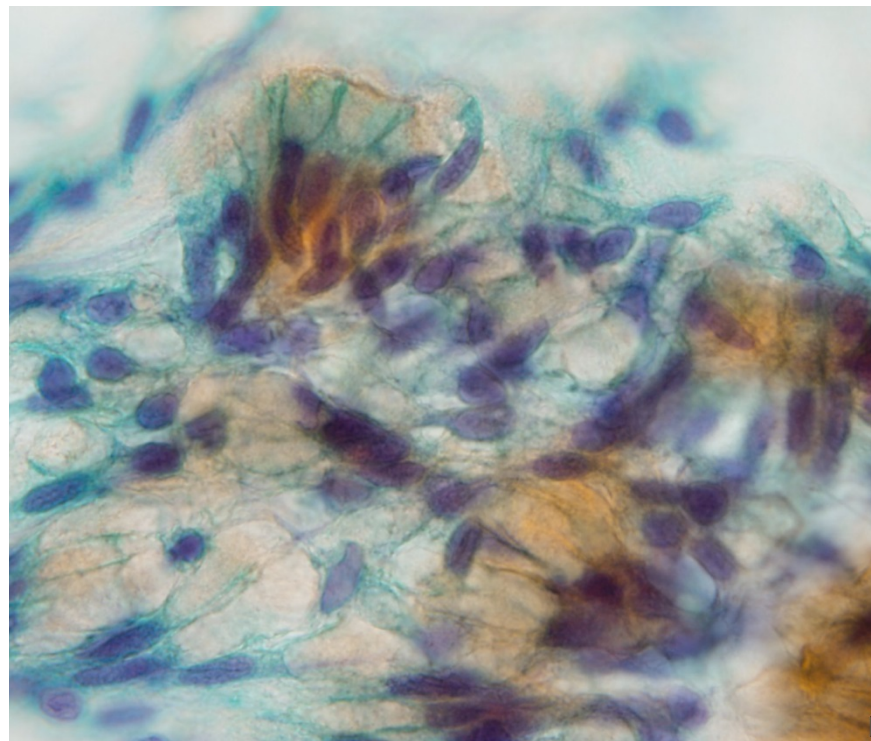
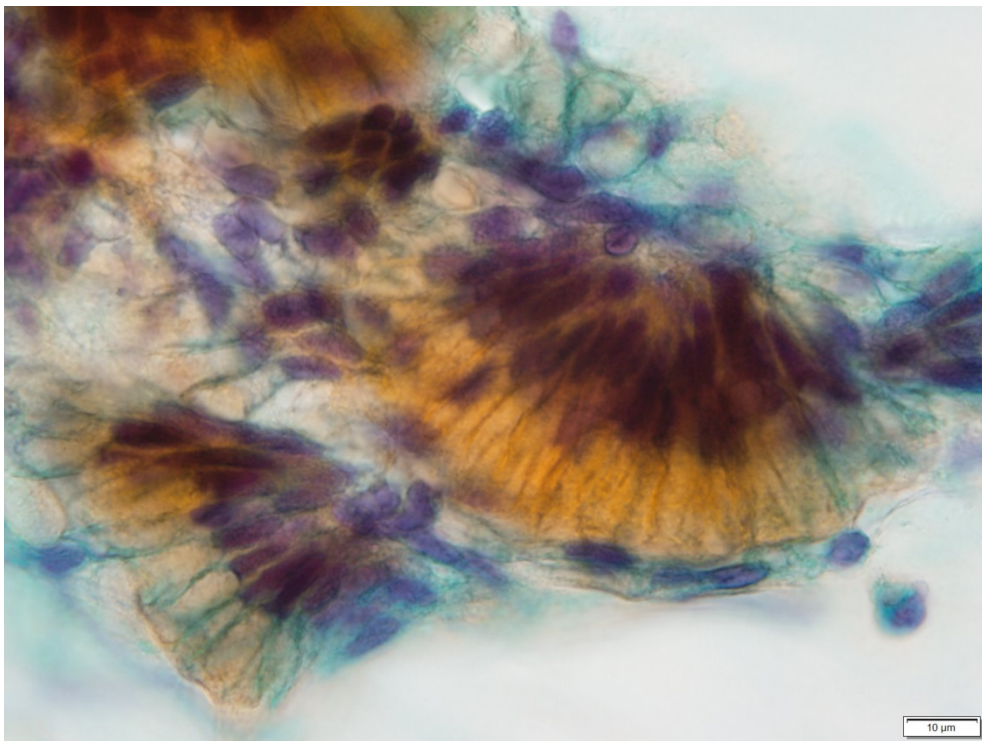
性別: 女性

検体: 膵液

臨床所見: 膵鉤部に多房性嚢胞



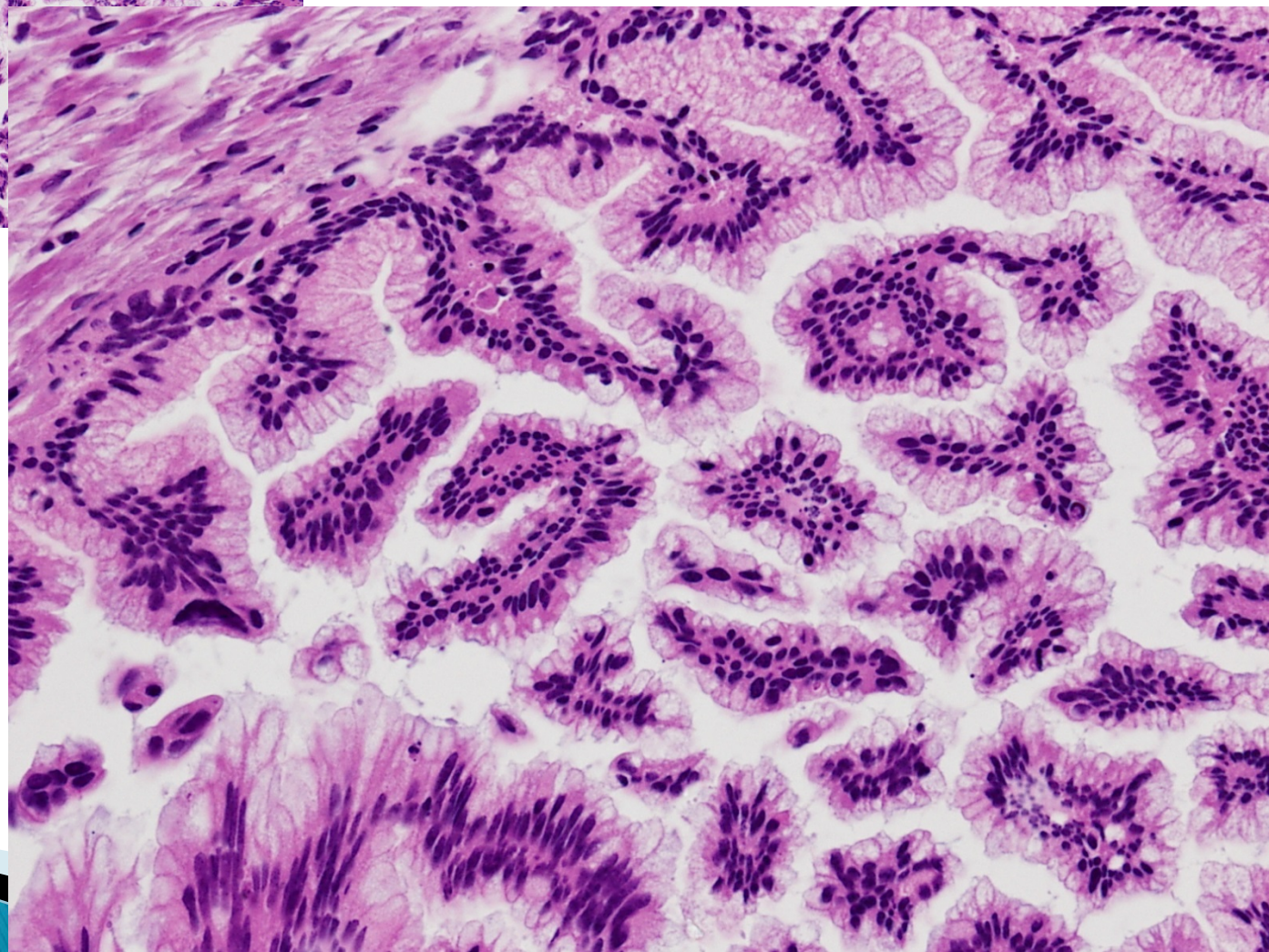
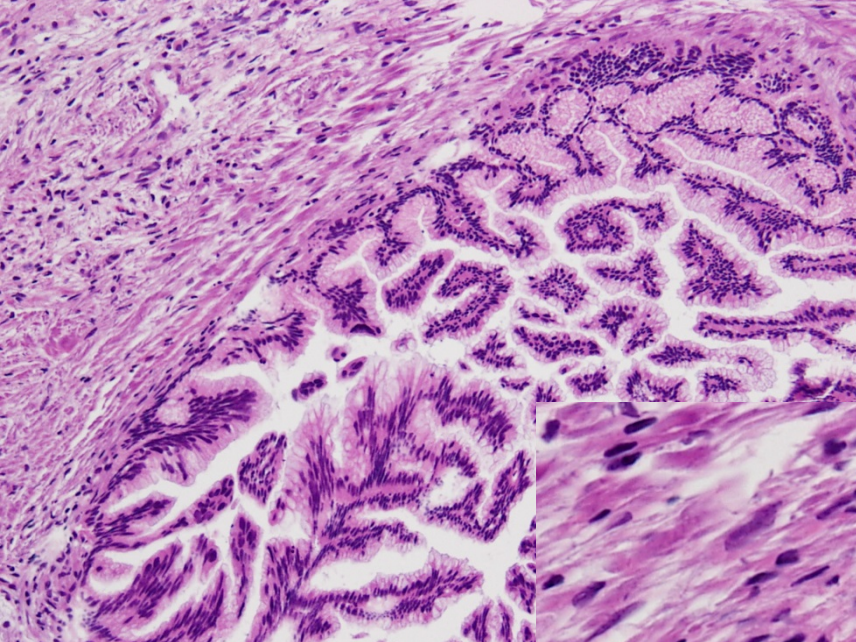
- a. 正常膵管上皮細胞 b. 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN)
c. 粘液癌 d. 神経内分泌腫瘍 e. Solid-pseudopapillary neoplasm



- 豊富な粘液を有する高円柱状の集塊
- 細胞成分は単一細胞性
- 核は基底側に並ぶ
- 細胞、組織異型度により腺腫 (IPMA) と癌 (IPMC) に分けられる

[正解] b. 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN)

組織像



まとめ

- 各設問における正解率は、100%で良好な結果であった
- 今後も引き続き鑑別が重要な基礎的な症例を中心に出题し、細胞診断力の標準化に努めていきたい

ご静聴ありがとうございました。